

2024 年 5 月 14 日 15 価の肺炎球菌ワクチンについて

肺炎球菌ワクチンが 13 価から 15 価に変わりました。

15 価肺炎球菌ワクチンは、2022 年 9 月に国内で承認、2023 年 6 月からは小児にも適応が拡大され、そして 2024 年 4 月から定期接種となりました。

肺炎球菌は、90 以上の型(種類)がありますが、その中で子どもたちに重い病気を起こすことが多い種類を選んで作られています。

～予防できる病気～

ワクチンに含まれる肺炎球菌の型(種類)による髄膜炎や菌血症、菌血症を伴う肺炎など。これらの病気を予防するために接種します。

日本においても、ワクチンの普及に伴いワクチンで予防できる肺炎球菌による重い感染症が減少してきています。

今まで 13 価ワクチンを接種していた方も、途中から 15 価ワクチンを接種することが可能です。